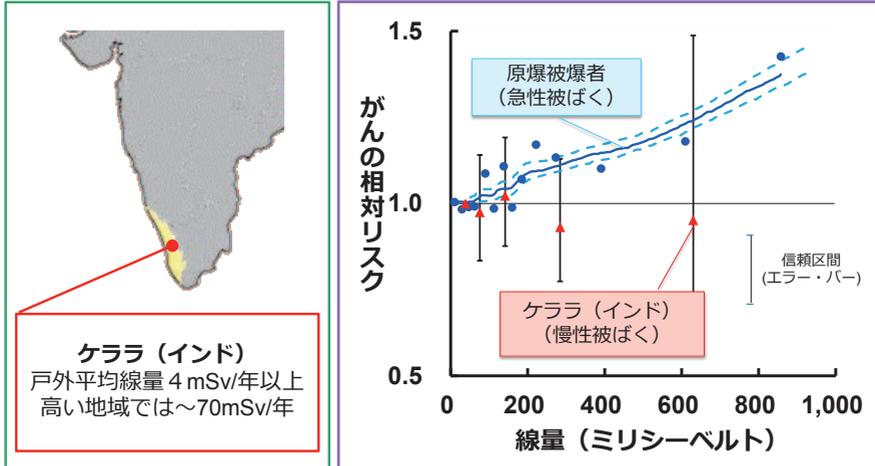


## インド高自然放射線地域住民の発がん



mSv : ミリシーベルト

出典 : Nair *et al.*, Health Phys 96, 55, 2009; Preston *et al.*, Radiat. Res. 168, 1, 2007より作成

低線量率被ばくと高線量率被ばくでは、影響の出方は違うと考えられています。

これは原爆被爆者のデータと、ケララ (インド) のような高自然放射線地域住民のリスクを比較したのですが、ケララでは積算線量が数百ミリシーベルトになってもがんの相対リスク (被ばくしていない人を1としたとき、被ばくした人のがんリスクが何倍になるかを表した値) の増加が見られていません。また、信頼区間 (グラフ上のエラー・バー) の幅も非常に大きいことから更なる検討が必要ですが、慢性被ばくの場合、急性被ばくよりもリスクが小さくなること示唆されます。

本資料への収録日 : 平成 25 年 3 月 31 日

改訂日 : 平成 27 年 3 月 31 日